

FUJITSU Security Solution FENCE-SVP

さまざまなプラットフォームでの暗号化機能を全面支援する開発ライブラリ

FENCE-SVPIはメモリ上に格納されているデータの暗号化・復号を行なうための暗号化ライブラリです。

暗号化に関する専門的知識がなくても使えるように数々のAPIで暗号化機能を提供します。Windows® PC、Windows®サーバ、UNIXサーバ、スマートフォン、更にはメインフレーム/オフコンなど幅広く対応しています。

特長

特長1 暗号化機能の組み込みによる既存システムへの影響を最小限に！

ユーザ開発アプリケーションからの暗号化開発を支援するとともに、すでに設計・製造しているプログラム処理・テーブル構造への影響を最小限にするための様々な機能を提供します。

■ 多彩な暗号方式

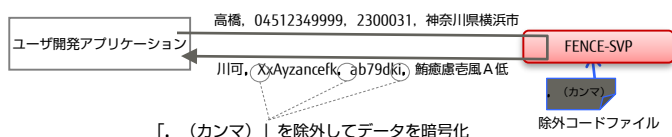
バイナリ暗号と文字コード暗号 (SJIS/EUC) を提供します。バイナリ暗号では、入力データ/出力データ共にバイナリデータとして扱い、業界標準の暗号方式AES(鍵長:256bit)を提供します。文字コード暗号では、暗号化結果は、暗号化前と同じSJIS又はEUC文字コードとなり、文字コードを変更したくない暗号化開発をサポートします。

■ 暗号化対象から文字コードを除外

除外コードファイルを使い、暗号化対象から特定の文字コードを除外することができます。

ユーザ開発アプリケーションが特定の文字コードをプログラム制御に使用している場合、暗号化対象の中から自動的に特定の文字コードを除外し、プログラム制御を変更することなく、暗号化機能を導入できます。

例) 暗号化後もCSV形式として使用したい場合

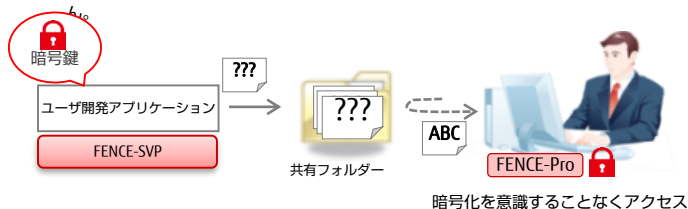


■ 暗号化後のデータサイズは同じ

暗号化処理においてデータサイズに影響を与えませんので、既存システムの仕様(テーブル構造等)を変更することなく暗号化機能を導入できます。

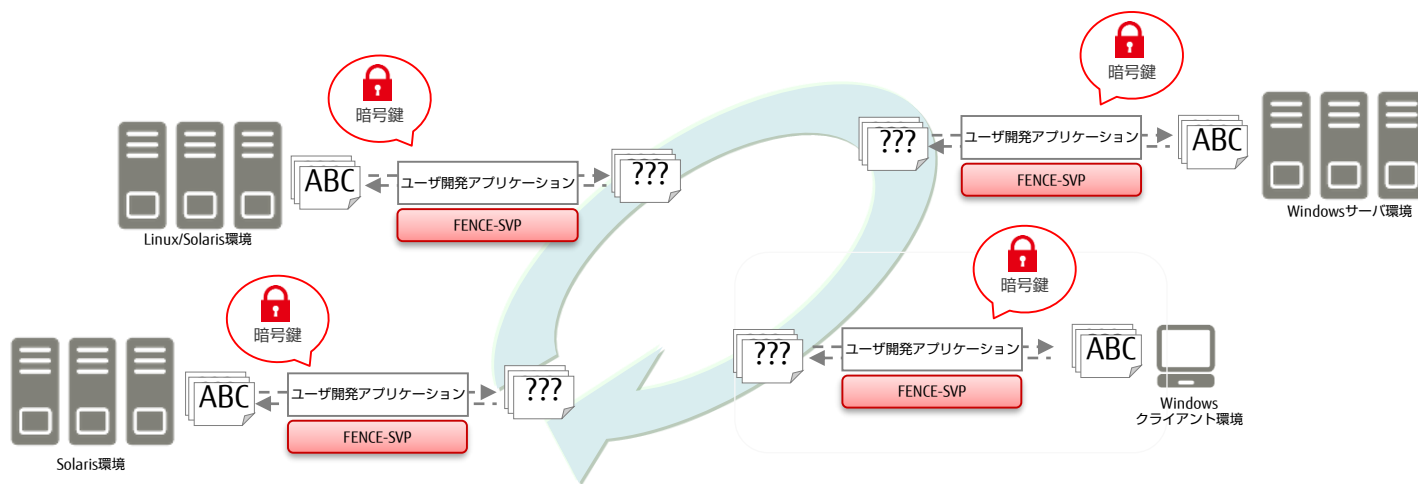
■ FENCE-Pro (暗号化ソフトウェア) と連携

ユーザ開発アプリケーションからFENCE-Proと同じ暗号鍵を使いファイルを暗号化することで、FENCE-Proが導入されている既存のPCから、暗号化を意識することなく使用することができ、暗号化ファイルを復号するプログラムを開発する必要がありません。



特長2 マルチプラットフォーム対応！

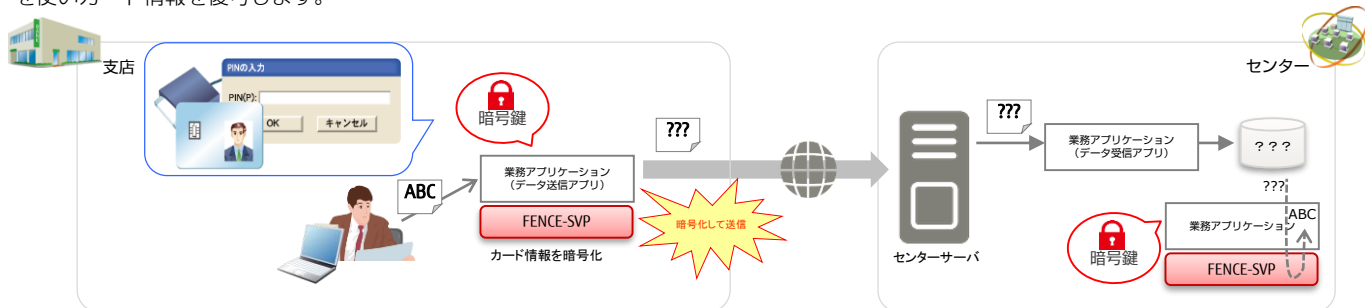
各種プラットフォーム毎にランタイムライブラリを提供しています。ユーザ開発アプリケーションは、各プラットフォーム上で、同じ暗号鍵、暗号方式を使うことで、プラットフォームを意識することなく、暗号化データを共有することができます。



導入事例

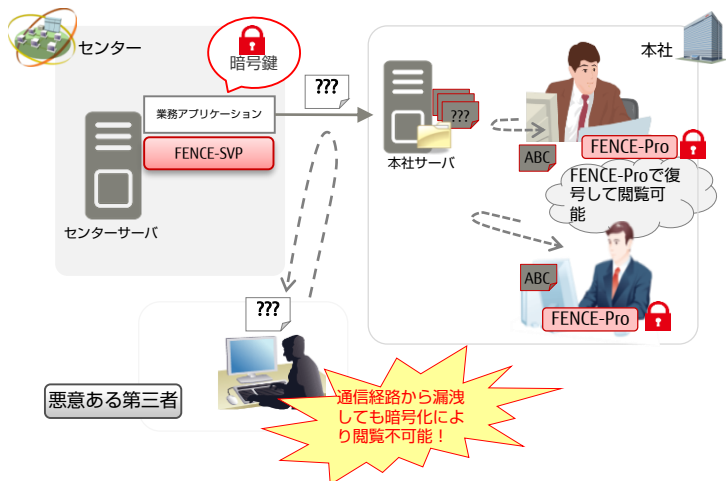
事例1 カード情報は漏洩防止のため暗号化

支店から入力されたカード情報は、漏洩防止のため暗号化してセンターで一括管理します。センターサーバの業務プログラムは、支店と同じ暗号鍵を使いカード情報を復号します。



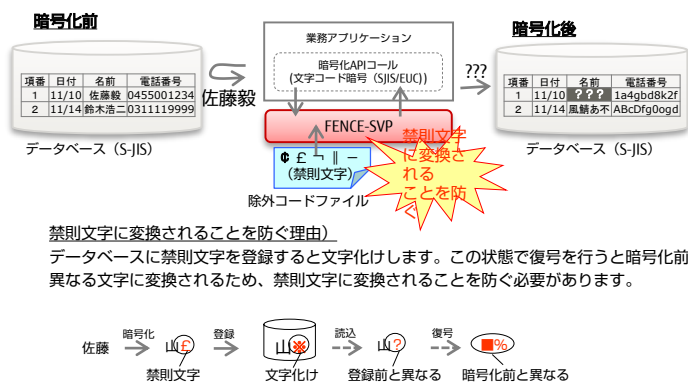
事例2 FENCE-Proと連携

漏洩防止の為、センターサーバの業務プログラムで暗号化した顧客情報を、PCから暗号化されている事を意識することなくアクセスします。暗号化されている顧客情報へのアクセスは、PC内のFENCE-Proと連携します。顧客情報は本社PC内と同じ暗号鍵で暗号化しています。



事例3 個人情報暗号化するユーザ開発アプリケーション作成

データベースに登録されている個人情報を暗号化するユーザ開発アプリケーションを作成します。暗号方式に文字コード暗号 (SJIS/EUC) を使い暗号化前と同じ文字コード (SJIS/EUC) に変換します。また、除外コードファイルに禁則文字を設定し禁則文字に変換されることを防ぎます。



禁則文字に変換されることを防ぐ理由)
データベースに禁則文字を登録すると文字化けします。この状態で復号を行うと暗号化前とは異なる文字に変換されるため、禁則文字に変換されることを防ぐ必要があります。

動作環境

対応OS	プラットフォーム	プログラミング言語	JRE
Microsoft® Windows® NT 4.0 Workstation/Server, Microsoft® Windows® 2000 Professional/Server	x86	C	未対応
Microsoft® Windows® XP /Vista®/7, Microsoft® Windows Server® 2003 /2008	x86	C, Java	JRE 1.5(x86), JRE 1.6(x86)
Microsoft® Windows® 7, Microsoft® Windows Server® 2003/2008	x64		JRE 1.5(x86/x64), JRE 1.6(x86/x64)
Microsoft® Windows® 8/8.1/10, Microsoft® Windows Server® 2012/2012 R2/2016	x86		JRE 1.7(x86), JRE 1.8(x86)
	x64		JRE 1.7(x86/x64), JRE 1.8(x86/x64)
Red Hat® Enterprise Linux® 4/5/6 Red Hat® Enterprise Linux® 4/5/6	x86		JRE 1.5(x86), JRE 1.6(x86)
	x64		JRE 1.5(x64), JRE 1.6(x64)
Red Hat® Enterprise Linux® 7	x64		JRE 1.7(x86/x64), JRE 1.8(x86/x64)
Solaris® 10	SPARC®1		JRE 1.5(32bit/64bit), JRE 1.6(32bit/64bit)
HP-UX® 11i	IA64, PA-RISC®1		JRE 1.5(32bit/64bit), JRE 1.6(32bit/64bit)
Android™	-		Java
OS IV/MSP	-	COBOL85	-

Microsoft、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint および Windows は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国の登録商標です。Linux® は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。Red Hat®、Red Hat Enterprise Linux® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。

お問い合わせ先

富士通株式会社 BSCユニット

〒135-0091 東京都港区台場 2-3-1 トレードピアお台場

Tel: 03-6457-1822 Fax: 03-3570-4070

E-Mail: bsc-spinfo@cs.jp.fujitsu.com

BSC-SVP-V4-catalog-01 (2018年08月製作)
本パンフレットの内容は、予告なく変更される場合があります。